



# 海南東ロータリークラブ

## ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

### 第 1735 回例会

平成 25 年 2 月 18 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

#### 1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「我等の生業」

#### 3. ゲスト紹介

青少年交換留学生(河内長野市)  
米山奨学生 中野 華子 様  
代 向斐 様

#### 4. 出席報告

会員総数 53 名 出席者数 38 名  
出席率 71.70% 前回修正出席率 58.49%

#### 5. 会長スピーチ



会長 花田 宗弘 君

青少年交換プログラムでカナダに行って頂いたことのある中野さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

先週 2 月 11 日にアゼリア RC のアゼリアバンドによるチャリティコンサートが市民会館でありました、後ほど三木さん

に報告して頂きます。

また 17 日には新しい市民病院(海南医療センター)の開所式がありました、中西幹事が当クラブ代表で出席しましたので、これも後ほど報告して頂きます。センターの玄関前には海南 3 クラブで寄贈したシマトネリコという立派な木が植わっているので是非見てやってください。



今月の理事会での主な決定事項を連絡致します。

①先日退会されました角谷勝司会員はロータリー精神を実行し、我クラブにも大きな影響を与えました、今後とも色々と指導して頂くために名誉会員となって頂くことになりました。②藤白神社に隣接する鈴木屋敷の保存のため、当クラブが協賛団体として加わることになりました、引き続き海南および海南西クラブにも協力を願いして行く予定です。③4月 1 日に行う予定の桜見例会には当クラブの OB を招待することになりました。

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか

<http://www.kainaneast-rc.jp> E-mail : info@kainaneast-rc.jp

#### 6. 幹事報告

○例会臨時変更のお知らせ

粉河 RC 2 月 20 日(水)→2 月 24 日(日)

12:30~ 橋本商工会館 8F 大ホール  
IM 4 組合同親睦例会

幹事 中西 秀文 君

#### 7. 委員会報告

○国際奉仕委員会

委員長 三木 正博 君

中国語会話勉強会を 2 月 20 日に開きます。ご参加いただける方はよろしくお願いします。

#### 8. ゲスト卓話

青少年交換留学生(河内長野市) 中野 華子 様

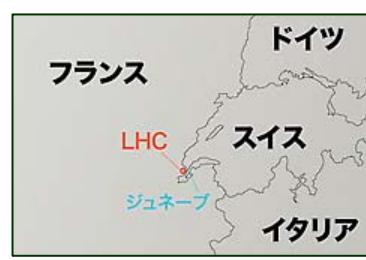


2004~2005 年に富田林高校 3 年次、羽衣 R C から長期交換学生として 1 年間、カナダ・オンタリオ州に留学させていただきました。トロントから車で 4~5 時間北上したところにある小さな村、Tobermory と Lion's Head、2 つのロ



ータリークラブでお世話になり、ホテル経営者、牧場主、キャンプ場経営者の 3 家庭に受け入れていただき、夏はヨットやカヌー、冬はスキーやスノーシューイングなどを体験しました。学校では歴史や語学の授業のほか、日本語・文化を教える機会も作っていただきました。

帰国後は、AO 入試で長崎大学教育学部に合格。受験では、交換留学時に集めたピンバッヂをたくさんつけたジャケットを着用、留学時のエピソードから今後の展望についてプレゼンしました。大学では単身アフリカで調査を行ったり、国際協力や異文化交流といった分野で活動しました。



大学卒業後、国際ロータリー財団奨学生として、スイス・ジュネーブに派遣していただきました。大学院では国際開発学を専攻し、紛争後国家での

教育の役割について研究しました。紛争と平和、教育の関係性から、バルカン地域の事例をもとに、紛争回避、解決のために教育が果たす役割について修士論文では論じました。昨年9月同大学院を修了した際には、式に参列するため両親とともに渡欧し、東欧などヨーロッパ各国も訪れました。

現在は、教育分野、途上国支援、海外との関わりができるような仕事を求めて就職活動をしています。カナダ留学で語学力を身につけたこと、そして17歳という若いときに親元を離れての海外経験ができたこと、それらが様々なチャレンジの源になっているのだと考えます。私にとっては、人生を左右する1年でした。ロータリーの皆様には心から感謝しております。また、是非ともこれら素晴らしいプログラムに引き続きご支援をいただければ幸いです。

## 9. 閉会点鐘

### 次回例会

第1736回例会 25年2月25日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

### ゲスト卓話

地区国際奉仕委員長 山本 唯二 様



## ニコニコ・BOX

角谷 太基君	1月は結婚記念日で2月は誕生日です。有難うございます。
吉田 昌生君	昨日、海南医療センターで藤白神社の獅子舞は舞いました。
林 孝次郎君	3月にフィリピンへ行く予定でしたが、都合が悪くなりました。誰か代わりに行ってください。
三木 正博君	アゼリアRCのチャリティコンサートに行ってきました。女性が多く、華やかでした。
田岡 郁敏君	中野様、今日は卓話、よろしくお願いします。
谷脇 良樹君	IDM、急な欠席でご迷惑をおかけしました。
IDM 1組	IDMの残金です。
IDM 5組	IDMの残金です。



## 国際ロータリー ニュース

### 平和フォーラムで

### アウンサンスーーさんに平和賞を授与

1月25~27日、ハワイのホノルルで開催された第2回ロータリー世界平和フォーラムにて、ミャンマーの民主化運動指導者で、ノーベル平和賞受賞者のアウンサンスーー氏が基調講演を行い、同氏に対し、平和で非暴力的な方法で民主主義を実現した長年の功

績を称え、「ハワイ平和賞」が授与されました。

20年間の自宅軟禁の末に2010年11月に解放された同氏は昨年、ミャンマーで民主化を推進する野党のメンバーとして連邦議会議員に選出されました。基調講演の中で同氏は、絶対的な平和の達成は困難ではあるが、それをを目指して進まなければならぬとし、人権を保証するには民主的な体制が必要であると訴えました。「私たちが欲する平和とは、恒久的な平和です。若い人たちに平和な国家構築の仕事を担ってもらえるよう支援する必要があります。前に進むためには、若い人たちの力が不可欠です」と述べた同氏は、平和構築における若者の役割の重要性にも触れました。ホノルルでの平和フォーラムは、平和プロセスへの若者の参加に焦点を当てたものです。



田中作次RI会長は今年度3回の平和フォーラムを企画しました。(1回目は昨年11月にベルリン、3回目は、5月17~18日に広島で開催されます)1,800人以上のロータリアン、ロータリー学友、ロータリーの平和プログラムの支援者が集いました。「平和にいたる緑の道」をテーマとし、平和推進における環境保全の重要性に焦点を当て、平和宣言も採択されました。

田中会長は「ロータリーは教育、人道奉仕、若者とのつながりを通じて平和を構築しています。未永く続く平和を実現するためには、新世代の若者、その次の世代の若者に参加してもらい、ロータリーの平和構築活動を未来へ継承していくよう彼らを支援する必要があります。健全な環境があってこそ、私たちは自分の可能性を最大限に生かすことができます。基本的ニーズが満たされれば、紛争の原因も少なくなります。紛争に資源を費やしていない人々や国は、その分みんなの利益になることに対して資源を利用できます」

「開催地のベルリン、ホノルル、広島はすべて、第二次世界大戦によって大きな被害を受けた所であり、現在は、国家間の持続可能な平和の力を象徴しています。平和構築を実現するのは一生かかる仕事です。毎日、世界中の34,000のクラブが、支援を必要としている人たちにきれいな水、医療、教育、そして希望をもたらすことで、より平和な世界の実現に努めています」

ロン・バートンRI会長エレクトは、このフォーラムに対するコメントの中で、以前にテキサス州サンアントニオで参加した本の寄贈行事で、新しい本を手にした子どもたちを見た時の体験について触れました。「本を手渡すことは、その子どもに自分が大切な存在であると分かってもらうためであり、そのように直接、クラブや一人ひとりのロータリアンが手渡すというのがロータリーなりのやり方」であるとし、「どうすればより平和な世界を構築できるでしょうか。一人のロータリアンが一人の子どもに最初の本を手渡すこと。これこそその始まりです

2月は世界理解月間です